

協働パイロット事業（H21）企画提案書

団体名：富厚里FC

1. 事業の名称

市民農園の共同利用による利用促進事業

2. 事業方針（市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください）

静岡市では、高齢化や後継者不足により耕作放棄地となつた農地を市民農園として活用することを推進しています。

しかし、農業に興味を持つ人が増えているにもかかわらず、利用率が伸び悩んでいる状況があります。その理由としては、個人で借りるには、継続的な維持管理が容易でなく、更には、農業の知識・情報が十分でないことの不安があることがあげられます。

私たちは、市民農園を共同で借りて作業分担し、地域の方々のアドバイスや協力を得て、農作業を通した交流活動を行い、楽しく、気軽に農業体験をすることを実践しています。

市民農園は、育てる喜び、収穫する楽しみだけではなく、出会いと発見と学びの場としての可能性を持っています。

今回提案する企画は、HPやチラシ等を活用し、市民農園での農業体験やイベントの告知、活動記録、四季折々の農園の様子、そして農園を核とした地域との交流による楽しさを伝え、その利用促進をめざす協働事業です。

現在、静岡市のHPにある市民農園のページには、所在地等の基本データ、空き地状況等の簡単な情報が掲載あるだけです。そこで、私たちが作成するHPやチラシ等をPR用に活用していただくことを期待いたします。

私たちの活動拠点である、静岡市葵区富厚里地区も人手不足という農村部の課題を抱えていますが、この活動に理解をいただき、協力して地域の活性化を図りたいという熱意を持っている方が多数いらっしゃいます。新しい市民農園の利活用法を提案し、都市農村交流をめざしたこの協働パイロット事業を進めるにあたり、この地区はよい環境が整っていると言えます。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

現在、静岡市内には35か所の市民農園が開設され、総区画数の合計は1,124区画となっています。市街地にある農園は比較的利用されてはいるものの、農村部にある市民農園は空き区画が目立っています。「富厚里さとう農園」については、33区画のうち20区画が空いています。

富厚里FCは、市民農園を共同で借り、会員を募って、農業体験や周辺の里山の自然や歴史文化に触れたり、地域の方々と交流したりする活動を計画しています。本年度はその活動を通して経験したこと、新たに出てきた課題、さらに利用者の意見等の情報をHPやチラシに掲載し、市民農園をPRします。それにより、静岡市および市民農園を経営されている方には、運営の参考になり、また集客モデルとして活用していただくことで、市民農園の利用促進に役立つと考えます。

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

- ・ 市民農園をPRする。
ホームページ、パンフレット、チラシ、・ 電子媒体用資料作成（HPにリンク可能なpdfファイル）
- ・ 市民農園での交流事業
農業体験、イベントでの参加者同士及び地域の人々との継続的交流の機会を創出
- ・ 市民農園がある里山の環境保全活動への参加

団体名： 富厚里 F C

5. 事業計画

情報の記録・発信

- ・ HP作成 (農園紹介、農園作業記録、交流イベントを掲載)
- ・ パンフレット、チラシ、電子媒体用資料 (市民農園のPR、活動記録作成)

具体的な活動の内容

- ① 農業体験から食品加工体験事業
さつまいも、そば等を栽培し、それら収穫物を加工する体験
- ② 交流活動事業
栽培から、収穫、加工品完成までの過程でのイベントの企画運営
収穫祭、試飲試食会、交流会等
- ③ 里山の環境保全活動への参加
「ダイラボウ」での間伐作業、山野草「猩々袴」の植栽作業等

6. スケジュール

月日	市 民 農 園	里山「富厚里」でのイベント	地域の行事および 環境保全活動	協働パイロット事業
				HP チラシ パンフレット 電子媒体資料
4/29	さつまいもの苗付け (焼酎づくりをめざして)			HP 8月までに、基本デザインを完成 イベントや行事の進行と共に、随時更新
5/9	さつまいもの苗付け			
5/24			山田長政献茶供養祭用 お茶のパッケージデザイン	
6/14	さつまいも苗つけ じやがいも収穫		鮎の炉端焼き食事会	パンフレット チラシ 電子媒体資料 イベントや行事の進行と共に、記録を蓄積していく
7月	さつまいもの蔓返し			
8/13			富厚里お盆上げ灯篭祭り参加	
9月初旬	秋まきそばの種まき	ダイラボウ ハイキング		
9月中旬	富厚里しめじの種菌うち体験	富厚里魅力発見 フィールドワーク①		
10月	さつまいも収穫 焼酎醸造のためのさつまいも皮むき作業 酒造会社へ醸造依頼 工場見学 市民農園主催の収穫祭	もちつき大会	八幡神社神楽観賞	
11月初旬 下旬	富厚里しめじの収穫 秋まきそばの収穫			
12月	焼酎完成	そば打ち体験		
1月	焼酎試飲会	味噌等の食品加工体験		
2月		富厚里魅力発見 フィールドワーク②	「ダイラボウ」間伐作業	
3月			「ダイラボウ」に咲く猩々袴のための下草刈り作業	HP、パンフレット、チラシ 完成

団体名： 富厚里 FC

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

主要スタッフは、静岡市生涯学習課主催の社会起業家セミナー「地域シゴトの学校 3期生（2008年度生）」の卒業生で構成されています。多種多様な分野で経験を積み、地域の魅力を様々な角度から見つめ、再発見し、外部に発信することが可能です。更に、富厚里地区で長年にわたり農業に従事し、地域のまとめ役の方々が、賛同し参加しています。そのため、きめ細かい農業指導や古くから受け継がれた生活の知恵や知識を学ぶことができます。

- (代表) 杉本 太 広告会社勤務 広告やPR誌などの製作を担当
(副代表) 鷲巣 敦子 パソコンインストラクター インドネシア及びタイの国立博物館において日本語ボランティアガイドを経験
(広報担当) 斎藤律子 静岡市内総合病院の管理栄養士として勤務
(会計担当) 日永真梨子 市内英会話学校勤務 NPO法人バニラボ 静岡・理事(事務局スタッフ)
(企画担当) 望月世津子 貿易会社勤務 静岡大道芸ワールドカップ実行委員会スタッフ歴10年
(農業指導) 佐藤信男 「富厚里さとう農園」オーナー、「ダイヤボウ」の管理を静岡市より委嘱される。

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

(富厚里 FC の全体構想)

私たちは情報不足やきっかけがなく、結びつくことが難しい都市部と農村部の人々の交流の橋渡し役となることを目指しています。

郊外にある市民農園を共同で借り、農業体験、食品加工体験、文化・歴史イベント等を開催したり、地域の祭りや行事に参加したりします。

自然、歴史、文化、景観などの魅力ある里山の地域資源を内と外の様々な視点から見直し、掘り起こしを行い、体験型の観光地としての活用を目指しています。

自然の中で活動したいと感じている人々と、地域の活力を高めたいと考えている地域とのマッチングを実現させ、継続的な都市農村交流を促すことで地域の活性化を進めていきたいと考えています。

(事業のきっかけ)

「地域シゴトの学校」で市民焼酎作りの事業計画を起案した時に、私たちは富厚里と出会いました。それ以来、地域の祭りや里山の環境保全作業などに参加するうちに、故郷のように思える場所になりました。そして、1年間の市民農園での農業体験で育てる楽しみ、収穫する喜びだけではなく、地域の人々との出会いや発見がありました。市民農園は、様々な広がりの可能性がある場所であり、その楽しさをもっと知ってもらいたいと考えるようになり、本事業の取組みがスタートしました。

(専門性)

本事業提案には、市民農園のオーナーや地域の方々からも賛同をいただきおり、運営者としての視点と利用する側の視点から、事業を進めていくことが可能です。

広報では、広告会社に勤務したメンバーの経験技術が活かされ、HP作成においてもデザイン、編集、コンテンツ企画は会員によって行うことが可能です。

(独自性・先駆性)

従来個々の区画内で完結していた市民農園において、イベント等を主催することにより他の参加者や地元との交流を生み出すことをめざしています。

農業生産だけの場であった農地は、例えば、「さつまいもを栽培して、焼酎を作りたい」というテーマを掲げれば、それに興味を持った人々が活発な交流をする場所になります。

そして、栽培から加工までに関わることで、継続的な交流が生まれ、様々な人が集い、情報交換ができる場所へと発展していきます。市民農園が新たな地域資源の発見・見直しの場となり、よりよい活性化のアイデアが生まれるなど、さらなる相乗効果が期待できます。

私たちが提案する事業は、増加する耕作放棄地及び市民農園の活用方法の一つの例として、先駆的なモデルとなるはずです。

(様式 3)

協働パイロット事業（H21）見積書

団体名：富厚里FC

企画のタイトル：市民農園の共同利用による利用促進事業

項目	金額	説明
・パンフレット作成 印刷製本代	60,000	200部 (A4、4ページ、カラー印刷)
・チラシ作成印刷代	25,000	300部 (A4・表カラー、裏1色)
・電子媒体用資料製作代	10,000	活動報告・活動資料 (pdf形式ファイル)
・ホームページ製作代 更新料(8月から3月) ファーストサーバーレンタル料 サーバー利用料	80,000 36,000 5,250 11,340	イベント告知、活動記録用 6,000円×6ヶ月 ドメイン取得・初期費用 1,890×6ヶ月 ●デザイン・編集・コンテンツ企画は会員有志にて行う。
・雑費	10,000	イベント用消耗品(紙コップ、割り箸、事務用品等)
小計 A	237,590	
消費税 B = A × 0.05	11,880	小数点以下切り上げ
合計 A + B	249,470	

◎実費弁償契約の希望の有無

有



※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途

企画提案の概要書

提案団体名	富厚里F.C
企画案のタイトル	市民農園の共同利用による利用促進事業
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内でご記入ください。)	<p>静岡市では、高齢化や後継者不足により耕作放棄地となった農地を市民農園として活用することを推進しています。</p> <p>しかし、農業に興味を持つ人が増えているにもかかわらず、利用率が伸び悩んでいる状況があります。</p> <p>その理由としては、個人で借りるには、継続的な維持管理が容易でなく、更には、農業の知識・情報が十分でないことの不安があることがあげられます。</p> <p>私たちは、市民農園を共同で借りて作業分担し、地域の方々のアドバイスや協力を得て、農作業を通して交流活動を行い、楽しく、気軽に農業体験をすることを実践しています。</p> <p>市民農園は、育てる楽しみ、収穫する喜びだけではなく、出会いと発見と学びの場としての可能性を持っています。</p> <p>今回提案する企画は、HPやチラシ等を活用し、市民農園での農業体験やイベントの告知、活動記録、四季折々の農園の様子、そして農園を核とした地域との交流による楽しさを伝え、その利用促進をめざす協働事業です。</p>
金額	249,470円

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ htmlで表現できない複雑な表現方法はご利用できません。